

西東京市第4次行財政改革大綱
アクションプラン
(平成29年度版)



西東京市マスコットキャラクター
「いこいな」
©シンエイ/西東京市

平成29年3月

西 東 京 市

目 次

～将来見通しを踏まえた持続可能で自立的な自治体経営の確立～	1
I アクションプランについて	2
II 体系別取組一覧	2
III 実施項目	6
基本方針Ⅰ 経営の発想に基づいた将来への備え	6
(1) 評価・検証に基づく効果的・効率的な行財政運営と予算編成手法の充実	
(2) 公共施設等の量的・質的適正化及び維持管理コストの適正化	
(3) 受益者負担の適正化	
(4) 特別会計の健全化	
基本方針Ⅱ 選択と集中による適正な行政資源の配分	18
(1) 行政運営内部の固定的な経費の削減	
(2) 補助金、負担金等の適正化と財政支援団体の見直し	
(3) 行政評価等による重点施策、事業の見極めと資源の重点配分	
基本方針Ⅲ 効果的なサービス提供の仕組みづくり	27
(1) 地域の多様な活動主体との連携と協働によるサービスの提供	
(2) 民間活力の活用促進	
(3) 市の役割の高度化に対応した組織力の強化	
(4) 成果を重視した組織運営体制の整備と人材育成の充実	
基本方針Ⅳ 安定的な自主財源の確保	44
(1) 徴収体制の強化、徴収率の向上につながる取組の推進	
(2) 市有財産の有効活用による歳入の確保	
(3) 新たな歳入項目の創出	

～将来見通しを踏まえた持続可能で自立的な自治体経営の確立～

西東京市が誕生して以来、不断のものとして行財政改革の取組を進めてきましたが、行財政改革に求められる役割は、「行財政運営の自立性・持続可能性を確立し、必要とされるサービスを確実に提供できる体制を整える」ことであり、今後もその取組は重要なものとなっています。

「第4次行財政改革大綱」では、「第3次行財政改革大綱」における市の目指す将来像を基本的に踏襲しつつ、「将来を見通す」ということと、将来を見通したうえで必要となる「経営」の視点を加え、今後、市の目指すべき将来像を「将来見通しを踏まえた持続可能で自立的な自治体経営の確立」として、新たに掲げました。

さらに、「第2次総合計画」を健全な行財政運営の側面から支え、実行性を確保するという観点から、「第2次総合計画」の計画期間である平成26年度から平成35年度までの10年間を実施期間として整合を図り、1年前倒しして「第4次行財政改革大綱」を策定しました。

「第4次行財政改革大綱」では、これまでの取組を評価し、継承し、発展させ、目指すべき将来像の達成に向けた今後10年間の行財政改革の取組として、次の4つの基本方針を設定しました。

基本方針Ⅰ 経営の発想に基づいた将来への備え

基本方針Ⅱ 選択と集中による適正な行政資源の配分

基本方針Ⅲ 効果的なサービス提供の仕組みづくり

基本方針Ⅳ 安定的な自主財源の確保

また、「第4次行財政改革大綱」は、「第3次行財政改革大綱」を包含することを基本とし、「第3次行財政改革大綱」で設定した実施計画の各項目の達成状況を検証したうえで、継続すべきものや新規に盛り込むべきものなどを判断し、上記の基本方針に沿った具体的な項目について、アクションプランを策定しています。

I アクションプランについて

第4次行財政改革大綱アクションプランでは、基本方針に基づき、長期的な視点で継続して取り組む必要があると認められる項目を、主要実施項目として位置付けています。

また、取組の機動性・柔軟性を高めるため、毎年度見直しを行うこととし、平成29年度は新規追加項目を含む、全88の項目からなるアクションプランを策定しました。

II 体系別取組一覧

基本方針 I 経営の発想に基づいた将来への備え

推進項目	項目番号	実施項目	種別	担当課	掲載ページ
(1) 評価・検証に基づく効果的・効率的な行財政運営と予算編成手法の充実	1	事務事業評価の効果的運用	主要	企画政策課	6
	2	予算編成業務改革		財政課	7
(2) 公共施設の量的・質的適正化及び維持管理コストの適正化	3	公共施設等総合管理計画の推進	主要	企画政策課・管財課・建築営繕課・関係各課	8
(3) 受益者負担の適正化	4	使用料・手数料の適正化	主要	企画政策課・関係各課	9
	4-1	施設使用料の適正化(フレンドリー)		障害福祉課	9
	4-2	施設使用料の適正化(文化施設)		文化振興課	10
	4-3	施設使用料の適正化(スポーツ施設)		スポーツ振興課	10
	4-4	施設使用料の適正化(西東京いこいの森公園駐車場)		みどり公園課	10
	4-5	施設使用料の適正化(エコプラザ西東京)		環境保全課	11
	4-6	施設使用料の適正化(学校施設)		社会教育課	11
	5	サービスの利用負担の適正化	26 新規 主要	企画政策課・関係各課	12
	5-1	高齢者福祉サービス等の効果的な運用と利用者負担の適正化		高齢者支援課	12
	5-2	検診等サービスの効果的な運用と利用者負担の適正化		健康課	13
	5-3	利用者負担(保育料)の見直し		保育課	13
	5-4	学童クラブ育成料の見直し		児童青少年課	14
	5-5	市民農園の負担金の見直し・新たな付加価値の創造	26 新規	産業振興課	14
	5-6	私道整備における受益者負担の適正化		道路建設課(道路管理課)	14
	5-7	占用料等の適正化	27 新規	道路管理課(みどり公園課・下水道課)	15
	5-8	自転車保管料の適正化	28 新規	道路管理課	15
(4) 特別会計の健全化	6	国民健康保険特別会計の健全化	主要	保険年金課	16
	7	下水道事業特別会計の健全化	主要	下水道課	17

基本方針Ⅱ 選択と集中による適正な行政資源の配分

推進項目	項目番号	実施項目	種別	担当課	掲載ページ
(1) 行政運営内部の固定的な経費の削減	8	人件費の抑制（時間外勤務の縮減）	主要	職員課・関係各課	18
	9	投開票事務の見直し・効率化		選挙管理委員会事務局	19
	10	契約・入札制度の改善		契約課	19
	11	省エネルギー対策の推進		環境保全課・管財課	20
	12	情報公開コーナーの運営体制の見直し	26 新規	総務法規課	20
	13	ごみ収集業務における効率的な収集ルート等の検討	29 新規	ごみ減量推進課	21
(2) 補助金、負担金等の適正化と財政支援団体の見直し	14	補助金・負担金、市単独事業の見直し	26 新規 主要	企画政策課・関係各課	22
	14-1	財政支援団体の見直し（社会福祉協議会）		生活福祉課	22
	14-2	財政支援団体の見直し（シルバー人材センター）		生活福祉課	23
	14-3	財政支援団体の見直し（商工会）	26 新規	産業振興課	23
	14-4	財政支援団体の見直し（勤労者福祉サービスセンター）	26 新規	産業振興課	23
	14-5	一部事務組合等の負担金等の見直し（多摩六都科学館組合）	26 新規	企画政策課	24
	14-6	一部事務組合等の見直し（昭和病院企業団）	26 新規	健康課	24
	14-7	一部事務組合等の見直し（柳泉園組合）	26 新規	ごみ減量推進課	24
	14-8	各種補助事業の適正化（高齢者事業）	26 新規	高齢者支援課	25
	14-9	はなバス事業の見直し		都市計画課	25
(3) 行政評価等による重点施策、事業の見極めと資源の重点配分	15	施策評価の効果的運用	主要	企画政策課	26
	16	定員管理の適正化		企画政策課	26

※種別欄（補足説明）

主 要：第4次行財政改革大綱における基本方針に基づき、長期的な視点で継続して取り組む必要があると認められる項目

26新規：第4次行財政改革大綱アクションプランの策定にあたり、平成26年度より新たに追加した項目

27新規：アクションプランの見直しにより平成27年度より新たに追加した項目

28新規：アクションプランの見直しにより平成28年度より新たに追加した項目

29新規：アクションプランの見直しにより平成29年度より新たに追加した項目

基本方針Ⅲ 効果的なサービス提供の仕組みづくり

推進項目	項目番号	実施項目	種別	担当課	掲載ページ
(1) 地域の多様な活動主体との連携と協働によるサービスの提供	17	地域協力ネットワークを核とした地域コミュニティの連携の推進	主要	協働コミュニティ課	27
	18	協働の促進と市民協働推進センターゆめこらぼの事業、運営体制等の検証・見直し		協働コミュニティ課	28
	19	市民参加制度の充実		企画政策課・秘書広報課	28
	20	防犯・防災等における行政と市民の役割分担の見直し	26 新規	危機管理室	29
(2) 民間活力の活用促進	21	民間活力の活用の推進に向けた検討	主要	企画政策課・関係各課	30
	21-1	給与支給・福利厚生事務等の委託化等の検討	26 新規	職員課	30
	21-2	窓口業務等の委託化等の検討	26 新規	市民課	31
	21-3	出張所・自動交付機等の運用の見直し		市民課	31
	21-4	高齢者福祉施設の運営体制の見直し	26 新規	高齢者支援課	32
	21-5	保育園の民間活力の活用推進		保育課	32
	21-6	児童館・学童クラブの民間活力の活用推進		児童青少年課	33
	21-7	こどもの発達センターひいらぎの運営体制の見直し	26 新規	健康課	33
	21-8	公園管理等事業の運営体制の見直し	26 新規	みどり公園課	34
	21-9	道路維持管理業務のあり方検討	26 新規	道路管理課	34
	21-10	図書館の運営体制のあり方の検討		図書館	35
	22	現業職場の委託化等の推進	26 新規	企画政策課・職員課・関係各課	35
	22-1	現業職場の委託化等の推進 (保育園給食調理作業)	29 新規	保育課	35
	23	指定管理者制度の効果的活用		企画政策課・関係各課	36
	23-1	指定管理者制度の効果的活用 (保谷こもれびホール)		文化振興課	36
	23-2	指定管理者制度の効果的活用 (市民交流施設)		文化振興課	37
	23-3	指定管理者制度の効果的活用 (スポーツ施設)		スポーツ振興課	37
	23-4	指定管理者制度の効果的活用 (フレンドリー)	28 新規	障害福祉課	37
	23-5	指定管理者制度の効果的活用 (西東京いこいの森公園等)	28 新規	みどり公園課	38
	24	広報のあり方の検討	26 新規	秘書広報課・関係各課	38
	25	市作成刊行物の集約化・配布コストの削減	26 新規	企画政策課・関係各課	38

基本方針Ⅲ 効果的なサービス提供の仕組みづくり

推進項目	項目番号	実施項目	種別	担当課	掲載ページ
(3) 市の役割の高度化に対応した組織力の強化	26	市の役割の高度化への対応	主要	企画政策課・関係各課	39
	27	継続的な組織再編の検討		企画政策課	39
	28	市の役割の高度化に対応した情報システムの運用・支援		情報推進課	40
	29	申請書等の手続きの簡素化検討	26 新規	総務法規課・情報推進課・関係各課	40
	30	子ども相談業務の見直し	26 新規	子ども家庭支援センター（健康課・障害福祉課・保育課・教育支援課・関係各課）	41
	31	社会教育行政の運営体制等の見直し	26 新規	社会教育課（公民館）	41
	31-1	公民館の運営体制のあり方の検討		公民館	41
(4) 成果を重視した組織運営体制の整備と人材育成の充実	32	職員研修・能力開発と支援の推進による人材育成	主要	職員課	42
	33	人事考課制度の効果的運用		職員課	42
	34	職員の能力の有効活用		職員課	43
	35	職員採用試験の再構築	26 新規	職員課	43

基本方針Ⅳ 安定的な自主財源の確保

推進項目	項目番号	実施項目	種別	担当課	掲載ページ
(1) 徴収体制の強化、徴収率の向上につながる取組の推進	36	徴収体制の連携・強化	主要	納税課・関係各課	44
	36-1	徴収率の向上（市税）		納税課	45
	36-2	徴収率の向上（国民健康保険料）		保険年金課	45
	36-3	徴収率の向上（介護保険料）		高齢者支援課	45
	36-4	徴収率の向上（利用者負担（保育料））		保育課	46
	36-5	徴収率の向上（学童クラブ育成料）		児童青少年課	46
(2) 市有財産の有効活用による歳入の確保	37	未利用市有地等の処分・有効活用	主要	企画政策課・管財課・都市計画課・道路建設課・道路管理課	47
	38	公共施設駐車場使用料の適正化		企画政策課・管財課・関係各課	47
	39	法定外公共物の適正な管理・処分		管財課・道路管理課・下水道課	48
(3) 新たな歳入項目の創出	40	公共施設財産貸付料収入の検討	主要	企画政策課・管財課・関係各課	49
	41	有料広告掲載の検討		企画政策課・関係各課	49
	42	寄附金制度等の検討	26 新規	秘書広報課・関係各課	50
	43	公園ベンチ等の寄附制度の導入	26 新規	みどり公園課	50

Ⅲ 実施項目

基本方針Ⅰ 経営の発想に基づいた将来への備え

国内の景気は回復基調にあるものの、市税収入の大幅な増加は見込めず、社会保障関連経費の増加などにより、財政の硬直化は進んでいる状況です。

今後、人口減少・少子高齢社会を迎えるにあたり、中長期的な視点から、過度な将来負担が生じることのない行財政運営を行い、第2次総合計画が目指すまちづくりの実現と、将来にわたって持続可能で自立した自治体経営の確立に向けて取組を推進します。

(1) 評価・検証に基づく効果的・効率的な行財政運営と予算編成手法の充実

行政評価の効果的な運用と予算編成を連携させ、歳出の抑制・削減、必要な財源の確保を図ります。

項目番号	1	担当課	企画政策課		種別	主要
実施項目	事務事業評価の効果的運用					
目的	総合計画事業をはじめとする各種事務事業の最適化・効率化を図る。					
長期的に目指す方向性等	<ul style="list-style-type: none"> ・従来の総合計画事業の進行管理ツールとしての側面に加え、経常事業・補助金負担金等の見直し、新たな事務事業やレベルアップ事業の実施の判断ツールとしても活用する。 ・目的と成果、コストの関係を継続的に検証し、不断の見直しによる効果的かつ効率的な事業執行を実現する。 ・こうした評価制度がさらに庁内において浸透し、評価対象であるなしにかかわらず、あらゆる事務事業が改善の視点に基づき、見直されることを目指す。 					
取組概要	<ul style="list-style-type: none"> ・評価対象事業を再精査したうえで、事業の優先度、必要性、内容の適切さ等の観点から、事務事業を単位とする評価を実施し、事業の改善・見直しを図る。 ・評価結果に対するフォローアップを実施する。 					
実施内容	実施時期					
	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	平成35年度	
1	新規レベルアップ事業の事務事業評価（事前）の実施	検証	行政評価制度の見直しを踏まえ実施			
2	補助金・負担金・経常事業の事務事業評価の実施	検証				
備考						

項目番号	2	担当課	財政課	種別	
実施項目	予算編成業務改革				
目的	財源を効果的・効率的に活用する予算編成方法の確立を目指す。				
取組概要	<ul style="list-style-type: none"> ・行政評価と連携した予算編成を実施する。 ・総合計画実施計画及び新規レベルアップ事業の事前調査結果を踏まえた予算編成を実施する。 ・財政健全化に向けた予算計上基準に基づく予算編成を実施する。 ・公会計制度を活用した予算編成を実施する。 				
実施内容		実施時期			
		平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
1	行政評価との連携	実施	検証・見直し	実施	
2	総合計画・新規レベルアップ事業の事前調査結果を踏まえた予算編成	実施	検証・見直し	実施	
3	予算計上基準に基づく予算編成	実施	検証・見直し	実施	
4	公会計制度を活用した予算編成	制度導入・活用に向けた検討		実施	
備考					

実施時期について

本アクションプランでは、基本的に平成29年度から平成33年度までの5年間の取組内容を記載していますが、第4次行財政改革大綱における基本方針に基づき、長期的視点で継続して取り組む必要のある主要実施項目（種別欄に「主要」と記載された項目）については、実施時期を平成29年度から平成35年度までの7年間の取組内容を記載します。

【参考】実施時期の表記（主要実施項目）

実施時期				
平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	平成35年度
検証・見直し・進捗管理				

【参考】実施時期の表記（主要実施項目以外の項目）

実施時期				
平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	平成33年度
更新	検証			

(2) 公共施設等の量的・質的適正化及び維持管理コストの適正化

平成28年9月に策定した「公共施設等総合管理計画」に基づき、将来を見据え、中長期的な視点で各施設の役割や横断的な課題を検証し、統廃合を含む適正配置や維持管理経費の削減を図ります。

項目番号	3	担当課	企画政策課・管財課・建築営繕課・関係各課	種別	主要	
実施項目	公共施設等総合管理計画の推進					
目的	公共施設等の総合的かつ計画的な管理を推進することにより、財政負担を軽減・平準化するとともに、公共施設等の適正な配置を実現し、持続可能で自立的な自治体経営の確立を目指す。					
長期的に目指す方向性等	<ul style="list-style-type: none"> 公共施設等マネジメント基本方針に沿って、各施設の老朽化等の課題に対応しながら、施設の利用形態・機能などに着目し、施設種別を越えた複合化・集約化による統廃合等を進め、総量抑制を図る。 施設配置・施設保有量の適正化と効率的な維持管理を実施することにより、財政負担を軽減・平準化し、新たな行政需要に対応できる財政基盤を確立する。 					
取組概要	<ul style="list-style-type: none"> 総合計画の見直しに合わせ、公共施設等総合管理計画の見直しを行う。 ファシリティマネジメントの導入により、施設保有量の適正化と効率的な維持管理を実施し、財政負担の軽減・平準化を図る。 公共施設等マネジメント実行計画の策定により、総量抑制に向けた計画的な取組を推進する。 					
実施内容		実施時期				
		平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	平成35年度
1	公共施設等総合管理計画の推進	実行・評価		見直し	実行・評価	見直し
2	ファシリティマネジメントの構築	検討	構築	導入・運用		
3	公共施設等マネジメント実行計画の策定・推進	毎年度策定・進行管理				
備考		個別施設の廃止、施設・用地の処分・活用による施設の開設・拡充等については、「公共施設等マネジメント実行計画」で進行管理する。				

(3)受益者負担の適正化

市民負担の公平性の確保と効率的な事務事業の遂行の観点から、受益の程度やサービスの特性に応じた、受益者負担のあり方について検討、適正化を図ります。

項目番号	4	担当課	企画政策課・関係各課		種別	主要
実施項目	使用料・手数料の適正化					
目的	使用料・手数料等について、受益者負担の適正化を図り、持続的にサービスを提供するための体制を整備する。					
長期的に目指す方向性等	<ul style="list-style-type: none"> ・受益者負担の「公平性」、「資源配分の適正化」、「租税負担の減少」及び「自主財源の確保」の考え方に基づき、負担の適正化を図ることを目指す。 ・使用料を徴収していない施設についても、他市の状況も踏まえながら、各施設の役割や利用実態などを勘案し、受益者負担の導入について検討を進める。 					
取組概要	<ul style="list-style-type: none"> ・使用料・手数料等について、定期的に検証し、見直しを行う。 ・使用料・手数料等の取扱いに関する全庁的な課題について検討する。 ・市民交流施設・公民館等、使用料を徴収していない施設の受益者負担導入について検討する。 ・消費税改定（10%導入時）に向けて施設使用料等の検証を行う。 					
実施内容		実施時期				
		平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	平成35年度
1	使用料・手数料等の定期的な見直し（使用料等審議会）	審議会（随時）				
2	受益者負担の適正化	検討・実施・検証（随時）				
備考						

項目番号	4-1	担当課	障害福祉課		種別	
実施項目	施設使用料の適正化（フレンドリー）					
目的	受益者負担の適正化を図り、持続的にサービスを提供するための体制を整備する。					
取組概要	<ul style="list-style-type: none"> ・利用実績や他施設での使用料等の状況を踏まえ、施設使用料の見直し・適正化を図る。 ・消費税改定（10%導入時）に向けて施設使用料等の検証を行う。 					
実施内容		実施時期				
		平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	平成33年度
1	使用料の定期的な見直し（使用料等審議会）	調査・検証	審議会	調査・検証		
備考						

項目番号	4-2	担当課	文化振興課	種別		
実施項目	施設使用料の適正化（文化施設）					
目的	受益者負担の適正化を図り、持続的にサービスを提供するための体制を整備する。					
取組概要	<ul style="list-style-type: none"> 施設使用料について、定期的に見直し適正化を図る。 消費税改定（10%導入時）に向けて施設使用料の検証を行う。 					
実施内容	実施時期					
	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	平成33年度	
1	西東京市民会館、コール田無の使用料の定期的な見直し（使用料等審議会）	調査・検証		審議会	調査・検証	
2	保谷こもれびホールの使用料の定期的な見直し（使用料等審議会）	調査・検証			審議会	調査・検証
備考						

項目番号	4-3	担当課	スポーツ振興課	種別	
実施項目	施設使用料の適正化（スポーツ施設）				
目的	受益者負担の適正化を図り、持続的にサービスを提供するための体制を整備する。				
取組概要	<ul style="list-style-type: none"> 施設の使用料について、定期的に見直し、適正化を図る。 消費税改定（10%導入時）に向けて施設使用料の検証を行う。 				
実施内容	実施時期				
	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	平成33年度
1	使用料の定期的な見直し（使用料等審議会）	審議会	調査・検証		審議会
備考					

項目番号	4-4	担当課	みどり公園課	種別	
実施項目	施設使用料の適正化（西東京いこいの森公園駐車場）				
目的	受益者負担の適正化を図り、持続的にサービスを提供するための体制を整備する。				
取組概要	<ul style="list-style-type: none"> 施設の使用料について、定期的に見直し適正化を図る。 消費税改定（10%導入時）に向けて施設使用料の検証を行う。 				
実施内容	実施時期				
	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	平成33年度
1	使用料の定期的な見直し（使用料等審議会）	調査・検証		審議会	調査・検証
備考					

項目番号	4-5	担当課	環境保全課	種別		
実施項目	施設使用料の適正化（エコプラザ西東京）					
目的	受益者負担の適正化を図り、持続的にサービスを提供するための体制を整備する。					
取組概要	<ul style="list-style-type: none"> 施設の使用料について、定期的に見直し適正化を図る。 講座室・多目的スペースの利用促進、効果的な運営を検討する。 消費税改定（10%導入時）に向けて施設使用料の検証を行う。 					
実施内容		実施時期				
		平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	平成33年度
1	使用料の定期的な見直し（使用料等審議会）	調査・検証		審議会	調査・検証	
2	多目的スペースの一般開放	試行・検証	実施			
目標数値		平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	平成33年度
2	多目的スペースの利用率	70%	70%	70%	70%	70%
備考						

項目番号	4-6	担当課	社会教育課	種別	
実施項目	施設使用料の適正化（学校施設）				
目的	受益者負担の適正化を図り、持続的にサービスを提供するための体制を整備する。				
取組概要	<ul style="list-style-type: none"> 施設の使用料について、定期的に見直し、受益者負担の適正化を図る。 消費税改定（10%導入時）に向けて施設使用料の検証を行う。 保谷中学校夜間照明等の設置に伴い、使用料等について検討を進める。 中原小学校、ひばりが丘中学校の建替えに伴い、使用料等についても検討を進める。 				
実施内容		実施時期			
		平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
1	使用料の定期的な見直し（使用料等審議会）	調査・検証		審議会	調査・検証
2	保谷中学校夜間照明使用料等の検討	検討	審議会	調査・検証	
3	学校施設使用料等の検討	検討	検討を踏まえた対応		
備考					

項目番号	5	担当課	企画政策課・関係各課	種別	26新規 主要
実施項目	サービスの利用負担の適正化				
目的	受益者負担の適正化を図り、持続的にサービスを提供するための体制を整備する。				
長期的に目指す 方向性等	<ul style="list-style-type: none"> サービスの提供に係るコストと、それに対する負担の関係を明確化し、受益者負担の公平性を確保するとともに、説明責任を果たすことを目指す。 サービスの利用に応じた負担の適正化を図り、既存のサービスを安定的に供給し、将来見込まれる行政需要に的確に対応する体制の確立を目指す。 				
取組概要	各種サービス負担について検証し、各種料金等の取扱いに関する全庁的な課題について検討する。				
実施内容		実施時期			
		平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
1	サービスの利用負担の適正化	検証・見直し・進捗管理			
備考					

項目番号	5-1	担当課	高齢者支援課	種別	
実施項目	高齢者福祉サービス等の効果的な運用と利用者負担の適正化				
目的	限られた財源の中で、より利用しやすいサービスとなるように、効果的な運用と受益者負担等のあり方を検討する。				
取組概要	<ul style="list-style-type: none"> 各種高齢者福祉サービスについて、介護保険サービスとの負担の公平性に留意し、事業内容や利用者負担の適正化を行う。 一般介護予防事業（トレーニングマシン一般開放等）について、効果的・効率的な運用を図るとともに、利用者負担のあり方について検討する。 				
実施内容		実施時期			
		平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
1	各種事業、サービス内容と効果的な運用の検討	実施・検証			
2	一般介護予防事業の効果的な運用と利用者負担のあり方の検討	実施・検証		検討・見直し	
備考					

項目番号	5-2	担当課	健康課	種別		
実施項目	検診等サービスの効果的な運用と利用者負担の適正化					
目的	限られた財源の中で、より利用しやすいサービスとなるよう、効果的な運用を検討するとともに、利用者負担の適正化を図る。					
取組概要	各種検診・健康診査事業の効果的・効率的な運用及び利用者負担の導入について引き続き検討する。					
実施内容		実施時期				
		平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	平成33年度
1	利用者負担「任意型検診（2がん）」	導入後の検証		評価・分析	今後の検診事業のあり方について検討	
2	利用者負担「がん検診（任意2がん以外）」	先行導入自治体の状況調査		評価・分析		
3	受診率向上事業「対策型検診（法定）」	取組実施				
目標数値		平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	平成33年度
3	対策型がん検診の受診率向上	胃がん：5.3% 肺がん：6.7% 大腸がん：36.0% 子宮頸がん：22.9% 乳がん：27.1%		胃がん：5.5% 肺がん：6.9% 大腸がん：38.0% 子宮頸がん：24.9% 乳がん：28.3%		
備考		【目標数値】平成27年度実績：胃がん検診 5.1%、肺がん検診 6.6%、大腸がん検診 34.0%、子宮頸がん検診 21.0%、乳がん検診 26.0%				

項目番号	5-3	担当課	保育課	種別		
実施項目	利用者負担（保育料）の見直し					
目的	受益者負担の適正化を図り、持続的にサービスを提供するための体制を整備する。					
取組概要	利用者負担（保育料）について、定期的に見直し適正化を図る。					
実施内容		実施時期				
		平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	平成33年度
1	利用者負担（保育料）の定期的な見直し（子ども子育て審議会）	検証	審議会	改定	検証	審議会
備考						

項目番号	5-4	担当課	児童青少年課	種別		
実施項目	学童クラブ育成料の見直し					
目的	受益者負担の適正化を図り、持続的にサービスを提供するための体制を整備する。					
取組概要	学童クラブ育成料について、定期的に見直し適正化を図る。					
実施内容		実施時期				
		平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	平成33年度
1	学童クラブ育成料の定期的な見直し（子ども子育て審議会）	検証	審議会	改定	検証	審議会
備考						

項目番号	5-5	担当課	産業振興課	種別	26新規	
実施項目	市民農園の負担金の見直し・新たな付加価値の創造					
目的	市民農園の効果的・効率的な運用と利用者負担の適正化を検討する。					
取組概要	市民農園の負担金について、見直しを行うとともに、新たな付加価値として、農に対する興味や理解の向上が図られる取組などを検討する。					
実施内容		実施時期				
		平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	平成33年度
1	負担金の見直し	実施・検証	実施・検証	検討	検討	検討
2	新たな付加価値の検討	実施・検証				
目標数値		平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	平成33年度
2	新たな価値を付加した農園数	2園	3園	2園	3園	—
備考		【実施内容1】平成29年度より2園（西原・中町）、平成30年度より3園（新町・北町・富士町）の負担金見直しを実施・検証				

項目番号	5-6	担当課	道路建設課(道路管理課)	種別	
実施項目	私道整備における受益者負担の適正化				
目的	市民負担の公平性を確保するとともに、事業の効率化を図る。				
取組概要	私道舗装工事費用について、公共性の高さに応じた負担率による自己負担制度を検討・導入する。				
実施内容		実施時期			
		平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
1	自己負担制度の検討・導入	調整	調整結果を踏まえ対応		
備考					

項目番号	5-7	担当課	道路管理課（みどり公園課・下水道課）	種別	27新規
実施項目	占用料等の適正化				
目的	占用料について、受益者負担の適正化を図り、持続的にサービスを提供するための体制を整備する。				
取組概要	<ul style="list-style-type: none"> ・道路占用料・下水道占用料・特定公共物占用料・公園占用料等について、固定資産税の評価替えを踏まえ、定期的に検証・見直しを行う。 ・東京都や他市の状況を参考にしながら、市独自の占用料のあり方について、検討を進める。 				
実施内容		実施時期			
		平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
1	占用料の定期的な見直し	調査・検証	見直し	方針決定に基づく対応	調査・検証
2	市独自の占用料のあり方の検討	調査・検証	方針決定		
備考					

項目番号	5-8	担当課	道路管理課	種別	28新規	
実施項目	自転車保管料の適正化					
目的	放置自転車の撤去及び保管に関する費用について、定期的に検証を行い、受益者負担の適正化を図るとともに、効果的・効率的な体制を整備する。					
取組概要	<ul style="list-style-type: none"> ・自転車保管料について、定期的に見直し適正化を図る。 ・自転車保管所の効果的・効率的体制を整備する。 					
実施内容		実施時期				
		平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	平成33年度
1	自転車保管料の定期的な見直し	検討		方針決定	実施・検証	検討
2	自転車保管所の効果的・効率的体制整備	調整・検討	調整・実施	実施・検証	検討	
備考						

(4)特別会計の健全化

国民健康保険特別会計や下水道事業特別会計について、中長期的な改善計画や取組を実施し健全化を進めます。

項目番号	6	担当課	保険年金課	種別	主要	
実施項目	国民健康保険特別会計の健全化					
目的	独立採算制の原則を踏まえ、一般会計からの法定外繰入を抑制する。					
長期的に目指す方向性等	<ul style="list-style-type: none"> ・ 計画的な取組を進めるため、保険料の改定計画を策定し、国保広域化への対応を着実にを行う。 ・ 医療費抑制策として、保健事業実施計画に基づき、ジェネリック医薬品差額通知や市民の健康づくりに関する取組を進め、医療費の抑制を目指す。 					
取組概要	<ul style="list-style-type: none"> ・ 医療費や医療制度等の動向を踏まえ、国民健康保険運営協議会の答申に基づき、保険料の見直しを適切に行う。 ・ 国民健康保険料の改定計画を策定する。 ・ 保健事業実施計画に基づき、ジェネリック医薬品の利用促進等、医療費の抑制に取り組む。 ・ 窓口業務等の委託化について、先進市の状況を調査し、導入を検討する。 					
実施内容		実施時期				
		平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	平成35年度
1	国民健康保険料の見直し (国民健康保険運営協議会)	諮問・検討	諮問・検討	諮問・検討	諮問・検討	諮問・検討
2	国民健康保険料の改定計画の策定	実施・検証			計画見直し	
3	窓口業務等の委託化検討	調査・検証	検討	検討結果を踏まえた対応		
目標数値		平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	平成35年度
1	被保険者一人当たりの法定外繰入の抑制		26市上位			
備考						

項目番号	7	担当課	下水道課	種別	主要	
実施項目	下水道事業特別会計の健全化					
目的	独立採算制の原則を踏まえ、一般会計からの基準外繰入を抑制する。					
長期的に目指す方向性等	<ul style="list-style-type: none"> ・一般会計からの基準外繰入を抑制するため、経費削減を図るとともに、下水道審議会を定期的に開催し、下水道事業の適正な運営について検討する。 ・今後想定される下水道管等の設備更新需要に的確に対応するため、西東京市公共下水道プランの見直しを行い、将来の財政負担を考慮して事業費の平準化を図る。 					
取組概要	<ul style="list-style-type: none"> ・下水道審議会において、下水道使用料等の適正な水準を検討し、健全な経営を目指す。 ・公営企業会計への移行に向けて、固定資産整理、条例・規則等の制定、改正等必要な準備を行う。 					
実施内容		実施時期				
		平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	平成35年度
1	下水道審議会の定期的な開催 (下水道使用料等の検討)			諮問・答申		諮問・答申
2	公営企業会計への移行	準備		導入	実施	
3	下水道プランの見直し				見直し	
目標数値		平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	平成35年度
1	経費回収率	86.0%		100%		
備考						

基本方針Ⅱ 選択と集中による適正な行政資源の配分

これまでも、行政内部の経常的な管理コストとして人件費や施設維持管理費などの削減と行政評価等による事業の見直しで、財源の確保を図ってきましたが、今後はこうした取組により捻出した資源を、重点化すべき施策や事業へ資源配分する「選択と集中」を実施します。

また、限りある行政資源を適正な行政サービス水準で配分し、社会保障関連経費など拡大し続ける行政需要に的確に対応していきます。

(1)行政運営内部の固定的な経費の削減

人件費や施設維持管理経費、システム関連経費など、行政内部の経常的な管理コストの削減を図ります。

項目番号	8	担当課	職員課・関係各課		種別	主要
実施項目	人件費の抑制（時間外勤務の縮減）					
目的	業務執行の効率化による経費削減を図る。					
長期的に目指す方向性等	ワークライフバランスの実現に向けて、業務効率の向上、職員の健康管理等の視点から、時間外勤務の縮減に向けた体制を整備する。					
取組概要	<ul style="list-style-type: none"> ・ノー残業デーの徹底のほか、時間外勤務縮減に資する取組を検討・実施し、職員のコスト意識の醸成、業務効率化・職場内のサポート体制の整備を図り、取組の実効性を高める。 ・所属長による時間外勤務の管理を徹底するとともに、全庁的な取組の機運を高め、ワークライフバランスの推進、過重労働による心身の不調防止を図る。 					
実施内容		実施時期				
		平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	平成35年度
1	時間外勤務の縮減に向けた新たな対策の検討	実施・検証・見直し				
2	人事考課の目標への導入検討	実施・検証・見直し				
3	勤務体制や繁忙期の応援体制の検討	実施・検証・見直し				
目標数値		平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	平成35年度
	時間外勤務時間数	平成25年度から平成27年度の平均実績以下	平成25年度から平成27年度の平均実績以下	平成25年度から平成27年度の平均実績以下	平成25年度から平成27年度の平均実績以下	平成25年度から平成27年度の平均実績以下
備考		【目標数値】平成25年度から平成27年度までの平均実績：136,003時間				

項目番号	9	担当課	選挙管理委員会事務局	種別		
実施項目	投開票事務の見直し・効率化					
目的	市民の利便性向上と選挙執行経費の節減を図る。					
取組概要	<ul style="list-style-type: none"> ・投票率の向上に向けて啓発に取り組むとともに、適正かつ効率的な選挙執行に向けて調整・検討する。 ・期日前投票等の一部委託化により選挙事務の効率化を図る。 ・若年層への選挙啓発の一環として、近隣大学等への働きかけにより学生アルバイト等を活用し、当日投票事務の効率化を図る。 ・電子投票について、国や東京都の動向を踏まえ、必要に応じて調査・研究を行う。 					
実施内容		実施時期				
		平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	平成33年度
1	選挙執行への調整・検討	都議会議員	衆議院議員 市議会議員	参議院議員	都知事 市長	都議会議員
2	委託化の推進（期日前投票）	実施				
3	委託化及び学生等活用の実施・検証（当日投票）	実施・検証				
目標数値		平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	平成33年度
3	学生等の活用人数	29人	29人	29人	29人	29人
備考		【目標数値】当日投票事務従事の学生等活用人数（【実施内容1】の選挙当たり各投票所一人）				

項目番号	10	担当課	契約課	種別		
実施項目	契約・入札制度の改善					
目的	入札方式として総合評価方式を採用入れることにより、総合的に優れた調達を図る。					
取組概要	総合評価方式による入札を試行実施し、効果等の検証を行い本格実施を検討する。					
実施内容		実施時期				
		平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	平成33年度
1	総合評価方式の実施・検証	試行・検証	検証結果に基づく対応			
目標数値		平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	平成33年度
1	総合評価方式の導入件数	2件以上		5件以上		10件以上
備考		【目標数値】年度別実施件数				

項目番号	11	担当課	環境保全課・管財課	種別		
実施項目	省エネルギー対策の推進					
目的	環境に配慮した行政運営を実現するとともに、経費節減を図る。					
取組概要	<ul style="list-style-type: none"> ・新たな環境マネジメントシステムとして、カーボン・マネジメントシステムを導入し、温室効果ガスの削減に向けた、より効果的な取組を推進する。 ・西東京市第二次地球温暖化対策実行計画（事務事業編）後期計画を推進する。 ・低公害車導入を検討する。 					
実施内容		実施時期				
		平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	平成33年度
1	カーボンマネジメントシステムの運用・検証	実施・検証				
2	西東京市第二次地球温暖化対策実行計画（事務事業編）後期計画の推進	計画の推進	見直し	計画の推進		
3	低公害車導入の検討	検討・実施				
4	庁用車（共用車・各課専用車）の適正保有台数等の検討	検証を踏まえ対応				
目標数値		平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	平成33年度
1	公共施設・公用車から排出される温室効果ガスの総排出量	9,922 t-CO ₂	9,820 t-CO ₂	9,719 t-CO ₂	新目標値の設定	新目標値の設定
備考		【目標数値】平成26年度実績（10,124 t-CO ₂ ）から毎年度1%ずつ削減する。				

項目番号	12	担当課	総務法規課	種別	26新規
実施項目	情報公開コーナーの運営体制の見直し				
目的	情報公開の手法の適正化、利便性の向上と運営体制の効率化を図る。				
取組概要	市民への情報公開内容のあり方や手法の検討（電子化など）、現状の情報公開コーナーの利用状況等も踏まえ、将来的な運用を検討する。				
実施内容		実施時期			
		平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
1	情報公開内容の電子化（マイナポータルによる自己情報確認）	検討	マイナポータル稼動 実施検証		
2	情報公開コーナーの将来的な運用の検討、関係課との調整	検討・調整		対応・検証	
備考					

項目番号	13	担当課	ごみ減量推進課	種別	29新規
実施項目	ごみ収集業務における効率的な収集ルート等の検討				
目的	ごみ・資源物収集運搬委託業務の効率化を図る				
取組概要	<ul style="list-style-type: none"> ・各収集車両にGPS付システム機器を搭載し、ごみ量・走行距離・作業時間をデータ化する。 ・収集データを基に最適な収集ルートを策定し、委託収集車両の削減を図る。 				
実施内容		実施時期			
		平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
1	収集ルートの最適化	実施・検討	検証・見直し(随時)		
2	収集委託車両台数の見直し	検討	検討結果を踏まえ対応		
備考		【実施内容1】平成29年度にごみ収集事業最適化システムを導入、データ集約・分析により収集ルートの最適化を図る。			

(2)補助金、負担金等の適正化と財政支援団体の見直し

補助金の事業目的や対象、補助率や実施効果等を定期的な検証、財政支援団体の事務の効率化、人員の適正化など経営改善を求め、自立的な経営による財政支出の抑制を図ります。

項目番号	14	担当課	企画政策課・関係各課	種別	26新規 主要	
実施項目	補助金・負担金、市単独事業の見直し					
目的	補助金・負担金、市単独事業を一斉に見直し、事業の適正化を図る。					
長期的に目指す方向性等	<ul style="list-style-type: none"> 補助金等の見直しにあたっては、評価結果を庁内で共有し、他の事業についても改善・見直しが図れる仕組みを構築する。 補助金の事業目的や対象、補助率や実施効果等を定期的に検証し、財政支援団体の事務の効率化や人員の適正化など、経営改善を求め、自立的な経営による財政支出の抑制を目指す。 					
取組概要	定期的な見直しの実施により、各種団体等への補助や負担金、市の単独事業により上乗せされている補助や給付等の適正化を図る。					
実施内容		実施時期				
		平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	平成35年度
1	調査・検討・関係課調整	調査・検討・調整				
2	補助金・負担金等の事務事業評価の実施	検証・見直し	実施・総括	検証	実施	総括
備考						

項目番号	14-1	担当課	生活福祉課	種別		
実施項目	財政支援団体の見直し（社会福祉協議会）					
目的	団体を取り巻く環境の変化に対応した自立的な経営を実現し、市からの財政支出を抑制する。					
取組概要	市の福祉施策及び事業や運営に関する基本方針等を踏まえ、経費の削減、定員管理の適正化、自主財源の拡充を図る。					
実施内容		実施時期				
		平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	平成33年度
1	事業や運営に関する基本方針に基づく取組要請、補助金抑制	調整・実施				
2	事業の整理検討、定数管理計画に基づく補助金の削減	調整・実施				
目標数値		平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	平成33年度
1	会員数	4,850件	4,850件	4,850件	4,850件	4,850件
備考		【目標数値】会員数（個人登録者・団体登録者）の合計				

項目番号	14-2	担当課	生活福祉課	種別		
実施項目	財政支援団体の見直し（シルバー人材センター）					
目的	公益目的事業の推進を図りつつ、団体を取り巻く環境の変化に対応した、自立的な経営を実現し、市からの財政支出を抑制する。					
取組概要	<ul style="list-style-type: none"> ・中長期的な事業計画の見直しを要請し、就業率の向上などにより、自主財源の拡充を図る。 ・会員の確保、会員の就業の機会と質の高い就業を検討する。 ・事務局に対して、事務の効率化、定員の適正化に努め、市からの補助金に過度に依存しない経営の実現を働きかける。 ・受注機会の拡大へつなげるため、市としても必要な支援を行う。 					
実施内容		実施時期				
		平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	平成33年度
1	自主財源の拡充	調整・実施				
2	補助金の抑制	調整・実施				
目標数値		平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	平成33年度
1	民間受注率・公益事業比率	43.0%・97.0%	43.0%・97.0%	43.0%・97.0%	43.0%・97.0%	43.0%・97.0%
備考						

項目番号	14-3	担当課	産業振興課	種別	26新規
実施項目	財政支援団体の見直し（商工会）				
目的	補助金・負担金の運用や効果を検証し適正化を図る。				
取組概要	商工会への補助金の運用内容や効果を検証し適正化を図る。				
実施内容		実施時期			
		平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
1	商工会運営に関する経費削減について商工会と協議	協議・調整・実施			
備考					

項目番号	14-4	担当課	産業振興課	種別	26新規
実施項目	財政支援団体の見直し（勤労者福祉サービスセンター）				
目的	補助金・負担金の運用や効果を検証し適正化を図る。				
取組概要	<ul style="list-style-type: none"> ・勤労者福祉サービスセンターが策定した第2次経営改善計画に基づく取組状況、補助金の運用内容や効果を検証し適正化を図る。 ・（仮称）第3次経営改善計画に係る方針を平成29年度中に決定する。 				
実施内容		実施時期			
		平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
1	自立的な経営を目指した、新しい運営方法の実施	実施・検証			
2	（仮称）第3次経営改善計画の策定及び実施	方針決定	計画策定	実施・検証	
備考					

項目番号	14-5	担当課	企画政策課	種別	26新規
実施項目	一部事務組合等の負担金等の見直し（多摩六都科学館組合）				
目的	負担金について、運用や効果を検証し適正化を図る。				
取組概要	指定管理者による効果的・効率的な運用について検証するとともに、負担金の適正化について、関係機関と連携し、検討・調整する。				
実施内容		実施時期			
		平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
1	指定管理者による運用の検証	更新	検証		
2	負担金の適正化の検討・調整	検討・調整			
備考					

項目番号	14-6	担当課	健康課	種別	26新規
実施項目	一部事務組合等の見直し（昭和病院企業団）				
目的	より効率的な病院経営を促す。				
取組概要	地方公営企業法の全部適用による病院事業に対し、より効率的な病院経営を促す。				
実施内容		実施時期			
		平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
1	経営形態の見直し（地方公営企業法の全部適用）後の経営の検証	検証			
2	効率的な運営に向けた働きかけ	検討			
備考					

項目番号	14-7	担当課	ごみ減量推進課	種別	26新規
実施項目	一部事務組合等の見直し（柳泉園組合）				
目的	組合の定員管理の適正化等、経費削減を促す。				
取組概要	事業や運営に関する基本方針等の策定を要請し、経費削減、定員管理の適正化を図る。				
実施内容		実施時期			
		平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
1	経費削減、定員適正化の実施に向けた検討・関係機関調整	検討・調整			
備考					

項目番号	14-8	担当課	高齢者支援課	種別	26新規	
実施項目	各種補助事業の適正化（高齢者事業）					
目的	敬老金贈呈事業、手技治療券事業等の見直しを図る。					
取組概要	<ul style="list-style-type: none"> ・敬老金贈呈事業について、見直しを検討する。 ・手技治療券事業について、鍼灸・マッサージ師による健康講座等の実施を含めて、より効果的・効率的な実施を検討する。 					
実施内容		実施時期				
		平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	平成33年度
1	敬老金贈呈事業の見直し	実施・検証・見直し				
2	手技治療券事業の見直し（健康講座等の実施）	実施・検証・見直し				
目標数値		平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	平成33年度
2	健康講座の実施回数	4	4	4	4	4
備考		【目標数値】健康講座各年度実施回数				

項目番号	14-9	担当課	都市計画課	種別		
実施項目	はなバス事業の見直し					
目的	市民の利便性の向上やバス運行業務の効率化を図る。					
取組概要	<ul style="list-style-type: none"> ・地域公共交通会議での検討結果を踏まえ、運行ルートの見直しを含め経費の削減を図るとともに、民間路線バスの初乗り運賃との公平性の視点で運賃の見直しの検討を行い、公費負担の抑制を図る。 ・現行ルートの運行（利用）状況等を検証したうえで、課題があるルートの見直しを検討する。 ・都市計画道路の完成等により新規民間路線バスの運行等で、ルートの競合が生じた場合には、ルートの見直しを検討する。 					
実施内容		実施時期				
		平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	平成33年度
1	運賃改定の検討	検討			運賃改定	
2	運行ルートの見直し、経費削減の検討	運行状況の検証	見直し案検討	実施	検証	
目標数値		平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	平成33年度
1	利用者一人当たり公費負担額	110円	103円	95円	93円	92円
備考		【目標数値】現在の運賃150円で算出				

(3)行政評価等による重点施策、事業の見極めと資源の重点配分

取組により捻出した資源を、重点化すべき施策や事業へ資源配分、予算や人員を効果的・効率的に活用し「選択と集中」を実現します。

項目番号	15	担当課	企画政策課	種別	主要
実施項目	施策評価の効果的運用				
目的	限られた行政資源の適正配分・有効活用を図るため、施策単位での評価を実施し、「選択と集中」のツールとして活用する。				
長期的に目指す方向性等	<ul style="list-style-type: none"> ・市民の満足度や重要度を踏まえた、市の目指すべき将来像に向けた施策単位での選択と集中を行うことで、総合計画をはじめとした個別計画に基づく事業展開の方向性を示す仕組みの構築を目指す。 ・施策ごとに示す事業展開の方向性のもと、限られた行政資源（人員・財源等）を適正に配分することで、より効率的な行政運営を目指す。 				
取組概要	市民満足度や事業の成果等に基づき、施策を単位とする評価を実施し、総合計画の進捗状況及び評価に基づく見直しを行うとともに、予算編成にも活用する。				
実施内容		実施時期			
		平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
1	施策評価の実施	実施	行政評価制度の見直しを踏まえ実施		
2	市民意識調査の実施	実施			
備考		平成29年度に行政評価制度の見直しについて検討			

項目番号	16	担当課	企画政策課	種別		
実施項目	定員管理の適正化					
目的	適正な職員数による効率的な行政経営を目指す。					
取組概要	・地方分権改革の動向や社会情勢・行政需要の変化等を踏まえ、必要な職員数を精査し、計画的な定員管理を行う。					
実施内容		実施時期				
		平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	平成33年度
1	定員適正化計画の推進	実施・検証	見直し	実施・検証		
目標数値		平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	平成33年度
1	職員の定数の割合	—	98%	—	—	—
備考		【目標数値】平成26年4月1日の職員定数(正規・再任用合計)1,017人を基準とした各年度4月1日の職員定数の割合				

基本方針Ⅲ 効果的なサービス提供の仕組みづくり

地方分権が進む中、市民ニーズに的確に対応するため、サービスの提供者である自治体の政策立案機能の強化とともに、よりニーズに即したサービスを展開できる実施主体とのさらなる連携が必要です。これまでも、民間活力の活用や、市民との協働、新たな課題へ対応するための組織再編、組織を支える人材の育成などに取り組んできましたが、今後とも、市の将来を見据え、最も適した実施主体による効果的・効率的なサービス提供ができる仕組みづくりに取り組みます。

(1)地域の多様な活動主体との連携と協働によるサービスの提供

多様化する市民ニーズや課題の解決のため、市民や、ボランティア・市民活動団体、NPO、企業、大学など、地域活動を担う組織や団体との連携を推進します。

項目番号	17	担当課	協働コミュニティ課		種別	主要
実施項目	地域協力ネットワークを核とした地域コミュニティの連携の推進					
目的	地域コミュニティによるまちづくりを推進する。					
長期的に目指す方向性等	<ul style="list-style-type: none"> ・自治会、町内会を中心に、地域を担う組織や団体との連携・協力体制を構築する。 ・地域コミュニティの担い手が育ち、さまざまな交流が図られることにより、地域における活動が活性化されることを目指す。 					
取組概要	<ul style="list-style-type: none"> ・地域協力ネットワークの構築・活動支援を進め、地域コミュニティの連携を推進していく。 ・自治会・町内会の支援・活性化を推進する。 					
実施内容		実施時期				
		平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	平成35年度
1	地域協力ネットワークの検証と支援	検証・支援				
2	地域協力ネットワークの構築	1地区設立	構築準備	1地区設立	構築準備	
3	自治会・町内会等活性化補助金の活用促進	実施・検証・見直し				
目標数値		平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	平成35年度
2	地域協力ネットワークの構築 累計地区数	2地区実施	2地区実施	3地区実施	3地区実施	4地区実施
備考		【実施内容2】平成33年度に4地区目の地域協力ネットワーク設立を予定				

項目番号	18	担当課	協働コミュニティ課	種別	
実施項目	協働の促進と市民協働推進センターゆめこらぼの事業、運営体制等の検証・見直し				
目的	多様な活動主体との協働により地域課題を解決し、市民サービスの向上を図る。				
取組概要	<ul style="list-style-type: none"> 市民協働推進センターゆめこらぼの事業、運営体制・効果等を検証、協働事業の充実を図る。 協働の推進に向けた職員の意識・知識の醸成、協働事業の促進を図る。 				
実施内容		実施時期			
		平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
1	ゆめこらぼの受託者選定、事業運営内容等の検証	実施・検証		選定	実施・検証
2	協働について職員の意識・知識の向上のための研修実施	研修実施			
備考					

項目番号	19	担当課	企画政策課・秘書広報課	種別		
実施項目	市民参加制度の充実					
目的	市民の参加状況の向上を図り、より効果的に事業執行に市民の視点を取り入れる。					
取組概要	<ul style="list-style-type: none"> ソーシャル・ネットワーキング・サービス（SNS）等を活用した市民参加手法を検討・推進する。 より多くの人に参加できる新たな市民参加の仕組みを検討する。 リーフレット等により市民参加制度の周知を行う。 市政モニター制度の効果的な活用を検討する。 					
		実施時期				
		平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	平成33年度
1	SNSの検証、ICTの活用推進	検証・推進				
2	市政モニター制度の導入	実施・検証	更新	実施・検証	更新	実施・検証
目標数値		平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	平成33年度
2	市政モニター制度を活用したアンケート等の実施回数	3回	2回	3回	2回	3回
備考						

項目番号	20	担当課	危機管理室	種別	26新規
実施項目	防犯・防災等における行政と市民の役割分担の見直し				
目的	行政と市民の役割について周知を図り、地域における防犯・防災意識を高める。				
取組概要	<ul style="list-style-type: none"> ・防犯、防災、備蓄等、行政が担う部分と市民や市民団体等が担う部分について、学校避難所運営協議会や、地域防災訓練を通じて周知するとともに、地域における防犯・防災への取組を強化する。 ・災害時に単独での避難が困難な方(避難行動要支援者)に対し、関係機関や関係部署との連携により防災市民組織等の活動を支援し、避難支援協力者の確保等、地域における支援体制の構築と拡大に向けた取組を推進する。 				
実施内容		実施時期			
		平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
1	行政、市民、市民団体等が担う役割の検討・周知	地域防災訓練等の実施・検証・見直し			
2	避難行動要支援者に対する地域での支援体制の構築	支援体制モデルの構築支援			
備考					

(2)民間活力の活用促進

民間のノウハウや専門性、効率性の向上など、費用対効果やサービスの特性に応じた仕組みの検討、委託化等の推進を図ります。

項目番号	21	担当課	企画政策課・関係各課		種別	主要
実施項目	民間活力の活用の推進に向けた検討					
目的	行政サービスの質の向上と民間活力を導入、事業の効率化・コストの低減を図る。					
長期的に目指す方向性等	<ul style="list-style-type: none"> ・導入効果が見込まれる、窓口サービスなどの事務事業について、最も適した実施主体を検証するとともに、検証結果に基づき、民間委託や指定管理者制度の活用、民間譲渡等を推進する。 ・民間活力の導入に際しては、コスト効率化やサービス向上に対する事業者の動機付けにつながるような制度運用を検討するとともに、様々な選択肢に対して幅広く検討を加え、最も高い効果が得られる手法を導入することを目指す。 					
取組概要	<ul style="list-style-type: none"> ・窓口サービスや事務事業全般について、最も適した実施主体を検証する。 ・検証結果に基づき、民間委託や指定管理者制度の活用等、行政外部への委託化等を推進する。 					
実施内容		実施時期				
		平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	平成35年度
1	行政サービスの実施主体についての調査・検討・調整	調査・検討・関係課調整				
備考						

項目番号	21-1	担当課	職員課		種別	26新規
実施項目	給与支給・福利厚生事務等の委託化等の検討					
目的	民間活力等を活用し、事業の効率化を図る。					
取組概要	<ul style="list-style-type: none"> ・給与支給事務について委託、派遣の受入等民間活力の活用に適する業務を検討する。 ・福利厚生事務について業務委託に適する業務を検証し、委託化等を検討する。 					
実施内容		実施時期				
		平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	平成33年度
1	給与支給事務の民間活力の活用による業務効率化の検討	検討・実施・検証				
2	福利厚生事務の委託化等の検討	方針決定	方針に基づく対応			
備考						

項目番号	21-2	担当課	市民課	種別	26新規
実施項目	窓口業務等の委託化等の検討				
目的	民間活力を導入し、事業の効率化を図る。				
取組概要	<ul style="list-style-type: none"> ・窓口業務等の委託化について、他市の事例を調査・研究し、委託化に向けて検討する。 ・マイナンバー制度（社会保障・税番号制度）の実施に伴う窓口業務等への影響や証明書等コンビニ交付サービス開始による効果検証を踏まえ、窓口業務等のあり方について検討する。 				
実施内容		実施時期			
		平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
1	窓口業務等の委託化	検討	検討結果を踏まえた実施・検証		
備考					

項目番号	21-3	担当課	市民課	種別		
実施項目	出張所・自動交付機等の運用の見直し					
目的	出張所・自動交付機等について、市民ニーズや業務の効率化等、今後のあり方について検討する。					
取組概要	<ul style="list-style-type: none"> ・出張所について、マイナンバー制度（社会保障・税番号制度）の実施や証明書等コンビニ交付サービス開始による市民サービスの導入効果の検証を踏まえ、今後のあり方等について検討する。 ・自動交付機の設置台数の段階的な削減について検討を行う。 					
実施内容		実施時期				
		平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	平成33年度
1	自動交付機の運用の見直し	検討	検討結果を踏まえた対応			
2	出張所の運用の見直し	調査・検証	検討	検討結果を踏まえた対応		
3	コンビニ交付の証明書発行状況の検証	検証				
目標数値		平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	平成33年度
3	マイナンバーカード交付件数（年度累計）	35,000枚	47,000枚	59,000枚	71,000枚	83,000枚
備考						

項目番号	21-4	担当課	高齢者支援課	種別	26新規
実施項目	高齢者福祉施設の運営体制の見直し				
目的	高齢者福祉施設の運営形態について、整理・見直しを図る。				
取組概要	<ul style="list-style-type: none"> ・介護デイサービス（きらら、谷戸・田無高齢者在宅サービスセンター）の運営形態の見直しについて検討する。 ・福祉会館・老人福祉センター・老人憩いの家の運営形態の見直しを図る。 ・老人福祉センター送迎バスについて、ルート、運行時間、運営体制等の見直しを検討する。 ・田無総合福祉センターの施設・運営体制等について検討する。 				
実施内容		実施時期			
		平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
1	介護デイサービス運営形態の見直し	調査・検討	検討結果に基づく対応		
2	福祉会館等の運営形態の見直し	検討	検討結果に基づく対応		
3	老人福祉センター送迎バスの見直し	試行実施	試行結果に基づく対応		
4	田無総合福祉センターの施設運営体制の検討	検討	検討結果に基づく対応		
備考		【実施内容3】送迎バスの運行時間を見直し、利便性の向上を図る。			

項目番号	21-5	担当課	保育課	種別		
実施項目	保育園の民間活力の活用推進					
目的	民間活力を導入し、事業の効率化とサービスの向上を図る。					
取組概要	<ul style="list-style-type: none"> ・保育需要に基づく、保育園定員の適正化を図る。 ・各保育園の機能や保育施策の全体方針を踏まえ、平成29年度以降の保育園の民間委託等について計画的に進める。認可保育園の運営実績のある法人（運営形態は問わない）への運営委託、民間譲渡等についても検討する。 					
実施内容		実施時期				
		平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	平成33年度
1	民間委託化等に係る計画の策定（子ども子育て審議会）	審議会 計画策定	計画に基づき調整・実施			
目標数値		平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	平成33年度
1	委託化等導入施設	—	—	—	—	—
備考						

項目番号	21-6	担当課	児童青少年課	種別		
実施項目	児童館・学童クラブの民間活力の活用推進					
目的	民間活力を導入し、事業の効率化とサービスの向上を図る。					
取組概要	<ul style="list-style-type: none"> 児童館の利用状況や機能整理等を踏まえ、児童館の再編方針を決定する。 再編方針及びすでに委託化した児童館・学童クラブの運営状況等の検証結果を踏まえ、今後の児童館及び学童クラブの委託化の方針を決定する。 					
実施内容		実施時期				
		平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	平成33年度
1	児童館・学童クラブの新たな委託化の検討・推進	方針決定	方針に基づき対応			
目標数値		平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	平成33年度
1	委託化実施予定施設数	—	—	—	—	—
備考		【目標数値】各年度別委託化導入予定施設数				

項目番号	21-7	担当課	健康課	種別	26新規
実施項目	こどもの発達センターひいらぎの運営体制の見直し				
目的	支援体制の拡充のため、運営形態の見直し、民間活力の活用などを検討する。				
取組概要	支援体制の拡充、民間活力の活用を含め、他の自治体や民間施設の運営状況等を調査し、今後のひいらぎの運営形態の見直しや関係課との連携強化を検討する。				
実施内容		実施時期			
		平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
1	支援体制の充実、運営形態の見直し	新たな支援サービスの検討 分室事業の一部見直し	検討結果に基づく事業の実施		
備考					

項目番号	21-8	担当課	みどり公園課	種別	26新規
実施項目	公園管理等事業の運営体制の見直し				
目的	公園の維持・管理について、効果的・効率的な運用ができるよう、民間活力の活用を検討する。				
取組概要	<ul style="list-style-type: none"> ・下保谷四丁目特別緑地保全地区の保全と活用及び、効果的・効率的な管理運営について、民間活力の活用や市民ボランティアとの協働等について検討する。 ・平成29年度に策定する公園配置計画を踏まえ、指定管理者制度など民間活力の活用について検討し、経費を抑制しながら市民サービスの向上に努める。 				
実施内容		実施時期			
		平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
1	下保谷四丁目特別緑地の運営・維持管理について、市民と協働で管理する仕組みや民間活力の導入を検討	計画策定に向けた調査・検討	保全活用計画の策定	保全活用計画の推進	
2	公園維持管理等の運営体制検討	公園配置計画の策定	民間活力の活用の検討		
備考					

項目番号	21-9	担当課	道路管理課	種別	26新規
実施項目	道路維持管理業務のあり方検討				
目的	道路維持管理業務のあり方について検討する。				
取組概要	道路維持管理業務のあり方を検討する（街路樹剪定・草刈等の市民協働）。				
実施内容		実施時期			
		平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
1	維持管理業務について、先進例の調査・実施手法の検討	実施手法の検討		検討結果を踏まえ対応	
備考					

項目番号	21-10	担当課	図書館	種別		
実施項目	図書館の運営体制のあり方の検討					
目的	図書館機能の充実と運営の効率化を図る。					
取組概要	高度化・多様化する図書館需要を的確に捉えながら、効果的・効率的な事業執行に向けて、指定管理者制度等の民間活力の活用について調査研究し、最も適した実施主体の検討、運営形態の見直しを行う。					
実施内容		実施時期				
		平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	平成33年度
1	図書館の運営形態等の見直し	図書館協議会	検討結果に基づく対応			
2	地域・行政資料の電子化の推進	電子化の推進				
目標数値		平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	平成33年度
2	地域・行政資料の電子化率	63%	80%	97%	随時電子化	随時電子化
備考		【目標数値】 地域・行政資料の電子化率				

項目番号	22	担当課	企画政策課・職員課・関係各課	種別	26新規
実施項目	現業職場の委託化等の推進				
目的	行政サービスの向上に向けて、より効果的・効率的な運営体制の構築を図る。				
取組概要	技能労務職（自動車運転、一般作業、一般用務、給食調理、調理作業）業務の将来的な運営体制及び委託化等の推進等について検討する。				
実施内容		実施時期			
		平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
1	将来的な運営体制の検討及び委託化等の推進	方針に基づく対応	定員適正化計画の見直しに反映	検証	
備考					

項目番号	22-1	担当課	保育課	種別	29新規	
実施項目	現業職場の委託化等の推進（保育園給食調理作業）					
目的	行政サービスの向上に向けて、より効果的・効率的な運営体制の構築を図る。					
取組概要	技能労務職（調理作業）業務の将来的な運営体制及び委託化等の推進等について検討する。					
実施内容		実施時期				
		平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	平成33年度
1	将来的な運営体制の検討	検討	検討に基づく対応			
2	委託化の推進	準備	試行実施・検証	検証に基づく対応		
目標数値		平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	平成33年度
1	委託園数	3園	—	—	—	—
備考		【目標数値】 各年度別委託化等導入施設数				

項目番号	23	担当課	企画政策課・関係各課	種別	
実施項目	指定管理者制度の効果的活用				
目的	指定管理者制度導入施設について、一層の市民サービスの向上と行政コストの縮減を図る。				
取組概要	<ul style="list-style-type: none"> ・モニタリング、インセンティブ等を含めた指定管理者制度の運用のあり方を検証する。 ・モニタリングを通じて課題を把握・検証し、より効果的に指定管理者制度を活用する。 ・新たな導入施設を検討する。 				
実施内容		実施時期			
		平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
1	指定管理者制度の推進・運用の検証	推進・検証			
2	各施設のモニタリング等の活用検証	調査・検証			
3	新たに導入する施設の検討・支援	検討・支援			
備考					

項目番号	23-1	担当課	文化振興課	種別	
実施項目	指定管理者制度の効果的活用（保谷こもれびホール）				
目的	指定管理者制度導入施設について、一層の市民サービスの向上と行政コストの縮減を図る。				
取組概要	<ul style="list-style-type: none"> ・モニタリング、インセンティブ等を含めた指定管理者制度の運用のあり方を検証する。 ・モニタリングを通じて課題を把握・検証し、より効果的に指定管理者制度を活用する。 ・コール田無について、保谷こもれびホールと合わせた一体的な指定管理者制度導入について検討する。 				
実施内容		実施時期			
		平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
1	保谷こもれびホール指定管理者の検証	引継ぎ	更新	検証	公募・選定
2	一体的な指定管理者制度導入の検討	検討	検討結果を踏まえた対応		
備考					

項目番号	23-2	担当課	文化振興課	種別	
実施項目	指定管理者制度の効果的活用（市民交流施設）				
目的	指定管理者制度導入施設について、一層の市民サービスの向上と行政コストの縮減を図る。				
取組概要	<ul style="list-style-type: none"> ・モニタリング、インセンティブ等を含めた指定管理者制度の運用のあり方を検証する。 ・モニタリングを通じて課題を把握・検証し、より効果的に指定管理者制度を活用する。 ・市民交流施設の受益者負担について調査・検討する。 ・住民協議会組織の高齢化に伴う指定管理者辞退などを想定した対応等を検討する。 				
実施内容		実施時期			
		平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
1	東伏見コミュニティセンター指定管理者の更新	更新	検証	更新	検証
2	その他地域型交流施設の指定管理者の更新	検証	更新	検証	更新
3	市民交流施設の受益者負担について調査・検討	検討	検討結果を踏まえた対応		
備考					

項目番号	23-3	担当課	スポーツ振興課	種別	
実施項目	指定管理者制度の効果的活用（スポーツ施設）				
目的	指定管理者制度導入施設について、一層の市民サービスの向上と行政コストの縮減を図る。				
取組概要	<ul style="list-style-type: none"> ・モニタリング、インセンティブ等を含めた指定管理者制度の運用のあり方を検証する。 ・モニタリングを通じて課題を把握・検証し、より効果的に指定管理者制度を活用する。 				
実施内容		実施時期			
		平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
1	指定管理者の更新	公募・選定	更新	検証	
備考					

項目番号	23-4	担当課	障害福祉課	種別	28新規
実施項目	指定管理者制度の効果的活用（フレンドリー）				
目的	指定管理者制度導入施設について、一層の市民サービスの向上と行政コストの縮減を図る。				
取組概要	<ul style="list-style-type: none"> ・モニタリング、インセンティブ等を含めた指定管理者制度の運用のあり方を検証する。 ・モニタリングを通じて課題を把握・検証し、より効果的に指定管理者制度を活用する。 				
実施内容		実施時期			
		平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
1	指定管理者の更新	検証	公募・選定・引継	実施	
備考					

項目番号	23-5	担当課	みどり公園課	種別	28新規
実施項目	指定管理者制度の効果的活用（西東京いこいの森公園等）				
目的	指定管理者制度導入施設について、一層の市民サービスの向上と行政コストの縮減を図る。				
取組概要	<ul style="list-style-type: none"> 公園における指定管理者制度について、課題を把握し、検証する中で、効果的な活用を検討する。 指定管理者制度も含め民間活力の活用など、今後の公園等の管理運営体制について検討する。 				
実施内容		実施時期			
		平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
1	指定管理者の更新	効果の検証			検討結果に基づく対応
備考					

項目番号	24	担当課	秘書広報課・関係各課	種別	26新規
実施項目	広報のあり方の検討				
目的	広報のあり方について、他の広報媒体との統合や広告掲載など民間活力の活用を調査・研究する。				
取組概要	ソーシャル・ネットワーキング・サービス（SNS）をはじめとする新たな情報媒体の検証、他分野の広報誌との整理・統合、広告掲載等の民間活力の活用について調査・研究する。				
実施内容		実施時期			
		平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
1	SNSを始めとする新たな情報媒体の検証	実施・検証	見直し	実施・検証	
2	他分野の広報誌との整理・統合、広告掲載等の民間活力の活用	調査・研究			
備考					

項目番号	25	担当課	企画政策課・関係各課	種別	26新規
実施項目	市作成刊行物の集約化・配布コストの削減				
目的	市作成刊行物の集約化、電子化等による経費削減と有償頒布を検討する。				
取組概要	市で作成している市民マップや医療マップ等について集約化や電子化、広告掲載収入等、民間活力の活用の推進、有償頒布等による経費削減を検討する。				
実施内容		実施時期			
		平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
1	集約化・電子化の検討、広告掲載収入等民間活力の推進	検討・関係機関調整・実施			
備考					

(3)市の役割の高度化に対応した組織力の強化

地方分権の進展などに対応できる組織体制を構築します。

項目番号	26	担当課	企画政策課・関係各課		種別	主要
実施項目	市の役割の高度化への対応					
目的	地方分権等、市の役割の高度化に対応した取組を進める。					
長期的に目指す方向性等	地方分権やその他の制度改正等、市の役割の高度化、解決すべき課題の複雑化・広域化など、市を取り巻く様々な環境の変化に柔軟に対応し、将来にわたって持続可能な組織体制を確立する。					
取組概要	<ul style="list-style-type: none"> ・地方分権改革の動向を把握し、制度改変に対応した市の取組を検討する。 ・基礎的自治体の役割拡大に対応できるよう、これまでの取組を踏まえ、広域連携のさらなる推進に向けて検討する。 					
実施内容		実施時期				
		平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	平成35年度
1	国等の動向の把握、広域連携の推進等の検討	調査・検討・関係機関調整				
備考						

項目番号	27	担当課	企画政策課		種別	
実施項目	継続的な組織再編の検討					
目的	新たな地域課題や市民ニーズに的確に対応できる、自主性や主体性を発揮しやすい機能的な組織体制を構築する。					
取組概要	<ul style="list-style-type: none"> ・迅速な意思決定や機動性ある対応、庁内分権、関係部局間の連携強化に資する成果重視の組織体制・執行体制の構築に向けて検討する。 ・第2次総合計画の着実な推進を図るための組織体制について検討する。 ・公共施設等マネジメントの推進体制について検討する。 					
実施内容		実施時期				
		平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	平成33年度
1	組織体制の検討・改正	検討	組織改正	検証		
備考						

項目番号	28	担当課	情報推進課	種別		
実施項目	市の役割の高度化に対応した情報システムの運用・支援					
目的	市の役割の高度化に対応した付加価値の高い行政サービスの提供、業務の効率化及びIT投資の適正化を実現する。					
取組概要	<ul style="list-style-type: none"> ・最適化計画に基づき構築したネットワーク、端末、業務システムを適切に運用し、業務の効率化等を図る。 ・今後のシステム更新に備え、国や他自治体の動向にも留意しながら、より効率的な情報システムのあり方について検討する。 ・費用対効果に留意しながら、手続きのオンライン化を進める。 ・社会保障・税番号制度等、大規模な法改正への対応を図る。 ・自治体クラウド等、自治体間の業務システム共同化を検討する。 ・庁舎統合方針における庁内ネットワークの再構築の検討及び実施（東分庁舎を含めた業務サーバ配置等の整理） 					
実施内容		実施時期				
		平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	平成33年度
1	統合情報システム構築	運用（次期システムへの検討等）		次期システム更新作業	本稼動	
2	社会保障・税番号制度に係る対応	番号利用範囲拡大に向けた検討				
		運用テスト	地方公共団体間の連携			
			国の情報提供ネットワークシステムとの連携			
			マイナポータル稼動（子育てワンストップサービス）			
3	自治体セキュリティクラウド	構築	運用（都内全自治体での運用）			
4	庁舎統合方針における検討（庁内ネットワークシステム再編）	検討	設計	工事/構築	運用	
5	公共施設予約管理システムの更新	庁内調整	更新			
備考						

項目番号	29	担当課	総務法規課・情報推進課・関係各課	種別	26新規
実施項目	申請書等の手続きの簡素化検討				
目的	市民等の申請・届出手続きの負担軽減、業務の効率化のため、電子化も含め、各種申請書及び手続きの簡略化・統合化を検討する。				
取組概要	マイナンバー制度（社会保障・税番号制度）の運用に合わせ、申請・届出手続きの負担軽減、業務の効率化のため、電子化も含め、各種申請書及び手続きの簡略化・統合化を検討する。				
実施内容		実施時期			
		平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
1	各種申請書及び手続きの簡略化・統合化の検討	庁内調整 例規改正	マイナポータル稼動 実施・検証		
備考					

項目番号	30	担当課	子ども家庭支援センター(健康課・障害福祉課・保育課・教育支援課・関係各課)	種別	26新規
実施項目	子ども相談業務の見直し				
目的	子ども相談業務について、支援体制の構築を検討する。				
取組概要	子ども家庭支援センター・健康課・障害福祉課・保育課・教育支援課・関係各課が連携し、切れ目のない支援の構築に向け、連携内容や組織体制、取組等を検討する。				
実施内容		実施時期			
		平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
1	日常業務及び庁内関係課会議による連携の実施	連携実施・検証			
2	連携強化及び情報共有の仕組みづくりの検討	検討	検討結果を踏まえ対応		
備考					

項目番号	31	担当課	社会教育課(公民館)	種別	26新規
実施項目	社会教育行政の運営体制等の見直し				
目的	運営体制(公民館との組織編成検討)の見直しを検討する。				
取組概要	<ul style="list-style-type: none"> 運営体制の見直しを検討する(公民館との組織編成検討)。 地域生涯学習事業等の見直しの検討結果を踏まえた対応を進める。 				
実施内容		実施時期			
		平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
1	運営体制の見直し(公民館との連携)	検討	検討結果を踏まえた対応		
2	地域生涯学習事業の見直し	検討結果を踏まえた対応			
備考					

項目番号	31-1	担当課	公民館	種別	
実施項目	公民館の運営体制のあり方の検討				
目的	公民館機能の充実と運営の効率化を図る。				
取組概要	<ul style="list-style-type: none"> 施設・運営体制のあり方について検討するとともに、ひばりが丘公民館分室化の効果検証を踏まえ、柳沢公民館を中心とした公民館全体の運営効率の向上を図る。 公民館専門員の能力を有効活用した事業連携等、運営体制の見直しを検討する。 				
実施内容		実施時期			
		平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
1	施設・運営体制等の見直し	検討	検討結果を踏まえた対応		
備考					

(4)成果を重視した組織運営体制の整備と人材育成の充実

組織を支え、市の役割の高度化や地域との協働など、新たな行政ニーズへ対応できる人材を育成します。

項目番号	32	担当課	職員課	種別	主要
実施項目	職員研修・能力開発と支援の推進による人材育成				
目的	高度化・多様化する行政需要を的確に捉え、事務事業を効率的に執行する職員の能力開発を支援するとともに、人材育成の仕組みを強化する。				
長期的に目指す方向性等	人材育成基本方針及び人材育成基本方針実施計画に基づき、市を取り巻く状況の変化や市民ニーズに的確に対応し、各分野において政策形成・法務能力や専門性を発揮し、課題に対して的確かつ主体的な対応ができる人材の育成を目指す。				
取組概要	<ul style="list-style-type: none"> ・多様化・複雑化する市民ニーズに対応し、事務事業を効率的に執行できる人材の育成に向けて、人材育成基本方針実施計画に基づき、全庁的な推進体制の確立と取組を推進する。 ・人材育成基本方針実施計画に基づき、OJT（職場内研修）・OFF-JT（職場外研修）の充実と自己啓発を支援するための環境整備を推進する。 				
実施内容		実施時期			
		平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
1	人材育成基本方針及び実施計画の推進	推進・検証		見直し	推進・検証
2	職員研修の計画的・効果的な実施	実施・検証・見直し			
3	OJT（職場内研修）の推進	実施・検証	見直し	実施・検証	
備考					

項目番号	33	担当課	職員課	種別	
実施項目	人事考課制度の効果的運用				
目的	職員の職務に対する意欲増進を図り、効果的、効率的な職務遂行につなげる。				
取組概要	能力、業績及び取組への達成度を加味した人事考課制度を適正に運用するとともに、勤務評定結果を給与等へ反映する仕組みを確立する。また、評価の公平性を担保するため、評価者及び被評価者研修を継続して実施する。				
実施内容		実施時期			
		平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
1	管理職の勤務評定結果の給与等への反映	本格実施	実施・検証・見直し		
2	評価者・被評価者研修の実施	実施・検証・見直し			
備考					

項目番号	34	担当課	職員課	種別		
実施項目	職員の能力の有効活用					
目的	意欲ある職員が能力を最大限に発揮できる職員配置を行う。					
取組概要	<ul style="list-style-type: none"> ・職員の能力と特性を見極め、公募制人事、再任用職員の有効活用など、職員の能力、経験、実績等を的確に反映できる人事制度の検討を行う。 ・今後の委託化等の状況を踏まえ、試験のあり方を検討するとともに、技能労務職から一般行政職への任用替えを積極的に進める。 					
実施内容		実施時期				
		平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	平成33年度
1	公募制人事・再任用制度の実施	実施・検証・見直し				
2	任用替え試験の実施	検証	実施	検証	実施	検証
備考						

項目番号	35	担当課	職員課	種別	26新規
実施項目	職員採用試験の再構築				
目的	市職員にふさわしい新たな人材を確保する。				
取組概要	これまでの試験制度等を見直し、市の求める職員像にふさわしい人材が採用できるよう、任期付職員の採用や民間企業等経験者の採用等、多様な採用試験の実施について検討する。				
実施内容		実施時期			
		平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
1	職員採用試験の実施時期の見直し	試行・検証	検証に基づき実施		
2	試験内容・方法の見直し	試行・検証	検証に基づき実施		
3	任期付職員等の採用	実施・検証			
備考					

基本方針Ⅳ 安定的な自主財源の確保

行財政改革の取組においては、自治体経営における自立性と持続可能性の確保が重要です。国や都からの財政支援などに過度に依存することなく、必要な財源を自ら確保し、必要とされるサービスを確実に提供できる体制を整えることが重要です。

これまでも、安定的な歳入構造の確立に向けて、徴収体制の強化や新たな歳入の創出に取り組んできたところですが、これまで以上に、歳入の確保に向けた取組を強化する必要があります。

(1) 徴収体制の強化、徴収率の向上につながる取組の推進

市が有する債権について、情報共有や関係部署の連携により徴収体制の強化を図り、徴収率の向上を目指します。

項目番号	36	担当課	納税課・関係各課		種別	主要
実施項目	徴収体制の連携・強化					
目的	市民負担の公平性や財源の確保を図る。					
長期的に目指す方向性等	<ul style="list-style-type: none"> 関係部署間や債権回収対策係との連携強化、情報の共有化など、これまでの体制や取組を検証しつつ、全庁的な債権管理のあり方を検討し、さらなる徴収部門間の連携を進める。 民間活力の活用等、新たな手法も検討し、時代に即した効果的・効率的な徴収体制を構築することにより、自主財源の確保及び負担の公平性の確保を目指す。 					
取組概要	<ul style="list-style-type: none"> 所管課の債権管理担当者向け基礎研修を実施し、徴収技術の向上、徴収体制強化を図る。 債権回収対策係による困難案件の処理、徴収部門間の連携による徴収体制の強化を図り、市債権整理を適正かつ効率的に行う。 市が有する債権の適切かつ効率的な管理を行うことを全庁的な課題として、（仮称）債権管理条例の必要性を検討する。 					
実施内容		実施時期				
		平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	平成35年度
1	徴収率向上の取組実施	徴収部門間の連携強化・研修の実施			検証・連携の継続	
2	全庁的な徴収体制の検討	実施・検証			検証・連携の継続	
3	（仮称）債権管理条例の検討	検討	検討結果に基づく対応			
備考						

項目番号	36-1	担当課	納税課	種別		
実施項目	徴収率の向上（市税）					
目的	市民負担の公平性や財源の確保を図る。					
取組概要	<ul style="list-style-type: none"> ・口座振替の促進、コンビニ納付等の活用、動産・不動産の公売、納税推進員等による徴収強化などの取組を継続する。 ・債権管理対策係を活かした徴収体制を確立し、より効果的な滞納整理事務を行う。 ・各種イベントにおける納税キャンペーンを実施する。 					
実施内容		実施時期				
		平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	平成33年度
1	徴収率向上の取組実施	取組実施				
目標数値		平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	平成33年度
1	徴収率（現年分・滞納分）	99.1%・33.7%	99.1%・33.8%	99.1%・33.9%	99.2%・34.0%	99.2%・34.1%
備考						

項目番号	36-2	担当課	保険年金課	種別		
実施項目	徴収率の向上（国民健康保険料）					
目的	市民負担の公平性や財源の確保を図る。					
取組概要	<ul style="list-style-type: none"> ・口座振替の促進、収納推進嘱託員による収納強化などの取組を継続する。 ・債権回収対策係と連携して納入強化に向けた取組を行う。 ・マルチペイメントネットワークによる納入の仕組みを活用した納入促進を行う。 					
実施内容		実施時期				
		平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	平成33年度
1	徴収率向上の取組実施	取組実施				
目標数値		平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	平成33年度
1	徴収率（現年分・滞納分）	91.3%・27.0%	91.4%・27.0%	91.5%・27.0%	91.5%・27.0%	91.5%・27.0%
備考						

項目番号	36-3	担当課	高齢者支援課	種別		
実施項目	徴収率の向上（介護保険料）					
目的	市民負担の公平性や財源の確保を図る。					
取組概要	<ul style="list-style-type: none"> ・口座振替の促進、収納推進嘱託員による収納強化などの取組を継続する。 ・債権回収対策係と連携して納入強化に向けた取組を行う。 ・マルチペイメントネットワークによる納入の仕組みを活用した納入促進を行う。 					
実施内容		実施時期				
		平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	平成33年度
1	徴収率向上の取組実施	取組実施				
目標数値		平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	平成33年度
1	徴収率（現年分・滞納分）	98.7%・24.5%	98.7%・24.5%	98.7%・24.5%	98.8%・24.5%	98.8%・24.5%
備考						

項目番号	36-4	担当課	保育課	種別		
実施項目	徴収率の向上（利用者負担（保育料））					
目的	市民負担の公平性や財源の確保を図る。					
取組概要	<ul style="list-style-type: none"> ・口座振替の促進を継続するとともに、電話及び文書等による催告の強化を組織的に行う。 ・債権回収対策係と連携して納入強化に向けた取組を行う。 					
実施内容		実施時期				
		平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	平成33年度
1	徴収率向上の取組実施	取組実施				
目標数値		平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	平成33年度
1	徴収率（現年分・滞納分）	99.5%・31.0%	99.5%・31.0%	99.6%・31.5%	99.6%・31.5%	99.6%・31.5%
備考						

項目番号	36-5	担当課	児童青少年課	種別		
実施項目	徴収率の向上（学童クラブ育成料）					
目的	市民負担の公平性や財源の確保を図る。					
取組概要	<ul style="list-style-type: none"> ・口座振替の利用促進に向けた取組を継続する。 ・債権回収対策係と連携して納入強化に向けた取組を行う。 					
実施内容		実施時期				
		平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	平成33年度
1	徴収率向上の取組実施	取組実施				
目標数値		平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	平成33年度
1	徴収率（現年分・滞納分）	99.8%・34.5%	99.9%・35.0%	99.9%・35.0%	99.9%・35.0%	99.9%・35.0%
備考						

(2)市有財産の有効活用による歳入の確保

公共施設の適正配置などの取組により創出した施設や用地、事業用代替地や残地などを有効活用し、歳入の確保や維持管理経費などの削減を図ります。

項目番号	37	担当課	企画政策課・管財課・都市計画課・道路建設課・道路管理課		種別	主要
実施項目	未利用市有地等の処分・有効活用					
目的	未利用市有地等を売却・活用して歳入の確保を図る					
長期的に目指す方向性等	<ul style="list-style-type: none"> ・未利用市有地等の処分等により、財源を確保するとともに、市の財産保有量を適正なものとし、財産管理コストの適正化を図る。 ・未利用市有地等の処分にあたっては、単に売却だけでなく、将来需要を見据え、特定の行政ニーズに応える事業を実施する事業者等への貸付・譲渡など、財源確保と行政ニーズへの対応の両立が可能な新たな活用・処分方法についても検討する。 					
取組概要	<ul style="list-style-type: none"> ・未利用市有地の有効活用や効果的な売払い等を計画的に推進する。 ・使用目的を付記した処分方法等についても調査・検討する。 ・有料駐車場の運営等、未利用市有地等を有効活用した財源確保について検討する。 ・物品等についても効果的な売払い等を検討する。 					
実施内容		実施時期				
		平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	平成35年度
1	未利用市有地等の効果的な売払いや有効活用の推進	調査・検討・実施				
備考						

項目番号	38	担当課	企画政策課・管財課・関係各課		種別	
実施項目	公共施設駐車場使用料の適正化					
目的	公共施設駐車場の使用に関して、受益者負担の適正化及び混雑の緩和を図る。					
取組概要	<ul style="list-style-type: none"> ・公共施設駐車場使用料に関する基本的な考えを整理し、公共施設駐車場使用料の見直しを行う。 ・南町スポーツ・文化交流センターきらっと、エコプラザ西東京、その他スポーツ施設等の駐車場の有料化について検討する。 ・田無庁舎、中央図書館、田無公民館、南町スポーツ・文化交流センターきらっとの利用者駐車場の整備、有料化等について関係課と検討・調整する。 					
実施内容		実施時期				
		平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	平成33年度
1	公共施設の駐車場の有料化検討	検討	検討結果を踏まえた対応			
2	公共施設駐輪場の適正利用に向けた検討	検討	検討に基づく対応			
備考						

項目番号	39	担当課	管財課・道路管理課・下水道課	種別	
実施項目	法定外公共物の適正な管理・処分				
目的	国から譲与を受けた法定外公共物（里道・水路）を適正に管理するとともに、必要に応じて処分を行い、歳入の確保を図る。				
取組概要	<ul style="list-style-type: none"> ・法定外公共物の水路管理計画に基づき、適正な管理と処分を行う。 ・里道、水路敷占使用者への対応を図る。 				
実施内容		実施時期			
		平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
1	法定外公共物の適正管理、処分実施				
備考					

(3)新たな歳入項目の創出

行政財産の貸付等、新たな手法による歳入の確保を図ります。

項目番号	40	担当課	企画政策課・管財課・関係各課		種別	主要
実施項目	公共施設財産貸付料収入の検討					
目的	公共施設の財産貸付により、新たな歳入の確保を図る。					
長期的に目指す方向性等	<ul style="list-style-type: none"> ・行政財産貸付制度の活用によって得られるメリットを最大限発揮し、財源確保と市民サービス向上の両立を目指す。 ・現在、市の委託事業として公共施設内で行っている事業について、委託事業を民営化した後の財産使用の取扱いなどを整理することにより、事業の民営化促進を図る。 					
取組概要	<ul style="list-style-type: none"> ・今後の民営化の推進に伴う行政財産の使用に関して、行政財産貸付の拡充を検討する。 ・自動販売機の設置など、行政財産貸付の拡充により、新たな歳入の確保を図る。 					
実施内容		実施時期				
		平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	平成35年度
1	行政財産貸付の拡充検討					
備考						

項目番号	41	担当課	企画政策課・関係各課		種別	
実施項目	有料広告掲載の検討					
目的	広告収入等による歳入の確保を図る。					
取組概要	新たな媒体の検討も含め、行政財産等への有料広告の導入・拡大を図る。					
実施内容		実施時期				
		平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	平成33年度
1	行政財産等への有料広告の導入・拡大を検討					
目標数値		平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	平成33年度
1	新規媒体導入件数（各年）	1件	1件	1件	1件	1件
備考						

項目番号	42	担当課	秘書広報課・関係各課	種別	26新規	
実施項目	寄附金制度等の検討					
目的	寄附金制度等を研究し、新たな歳入の確保を図る。					
取組概要	<ul style="list-style-type: none"> ・寄附金制度の周知を図るとともに、より効果的な実施に向けて、他自治体での寄附金の受入れ内容等を調査し、新たな歳入の確保を検討する。 ・平成28年7月より開始した返礼品の贈呈について、実績及び動向等を踏まえ見直しを図る。 					
実施内容		実施時期				
		平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	平成33年度
1	寄附金制度(ふるさと納税等)の実施・検証	実施・検証				
目標数値		平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	平成33年度
1	寄附受入れ件数	80件	—	—	—	—
備考						

項目番号	43	担当課	みどり公園課	種別	26新規
実施項目	公園ベンチ等の寄附制度の導入				
目的	市民の共有財産である公園をより身近に感じてもらうとともに、公園施設の充実を図り、公園の利用促進を図る。				
取組概要	<ul style="list-style-type: none"> ・公園に設置するベンチの取換え等にあたり、公園の維持・管理に関する市民の理解・協力などを得ながら、広く市民等から寄附を募り、公園施設の充実を図る。 ・記念プレートを付けた公園ベンチを寄附により設置することで、より親しみのある公園として、寄附者を含む市民の方々の利用促進を図る。 				
実施内容		実施時期			
		平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
1	寄附によるベンチの取換え等の公募制度の導入	実施・検証			
備考					



西東京市第4次行財政改革大綱

アクションプラン

(平成29年度版)

平成29年3月発行

編集・発行 西東京市企画部企画政策課

〒188-8666 東京都西東京市南町五丁目6番13号

電話 042-460-9800 (直通)